

## 2021年度活動概要

### オーラル・プレゼンテーション&パフォーマンス（OPP）研究会

Oral Presentation & Performance (OPP)研究会は昨年度、コロナ禍の影響により、計画した活動は全てキャンセルせざるを得ない状況であった。そのまとめとして「若干形を変えながらも新年度に実施できることを切に期待する」と報告させていただいて迎えた2021年度、第12回大会であった。その報告書の通り、今年度はZoomによるオンライン開催となった。さすがに折からの緊急事態宣言やまん延防止措置の影響を拭い去ることは叶わず、参加校は3校にとどまったが、今年度不参加の大学の指導者からもオーディエンスとしてZoom開催に参加していただき、研究会のイベントとして成立させることができた。

出場3大学のうち、2大学からはドラマ・スキットパフォーマンスを録画版で配信する形となったが、その出来栄は制約の多かった今年度の状況下では極めて高品質であったと言えるであろう。また、残りの1大学は学生が大学の教室からオリジナルスピーチとチャンツパフォーマンスをライブで配信した。コロナ禍の皮肉な副産物とも言えるオンライン配信機材とスキルの充実が今回の異種オンライン共演を可能にしたと言えよう。

成果物は、例年の対面大会とは異なる機材の利用が求められたが、全体の録画はZoomによる収録であったため、映像クオリティには若干の伸びしろが期待される状態ではあるが、大切なのは物理的な場を共有していない状態でもこのような成果物を残すことができることを示すことができたのは重要な収穫であったと認識している。

研究方面では、昨年言及した報告書に記録されている指導者側の言説の分析の試みを継続審議している一方、10年間の成果を元に学術研究書の出版という形に残そうと動き始めたところである。